



レッドリボンは、HIV感染者・エイズ患者への
理解と支援の象徴です。

がん感染症疾病対策課
直通:092-643-3597
内線:3064
担当者:中尾

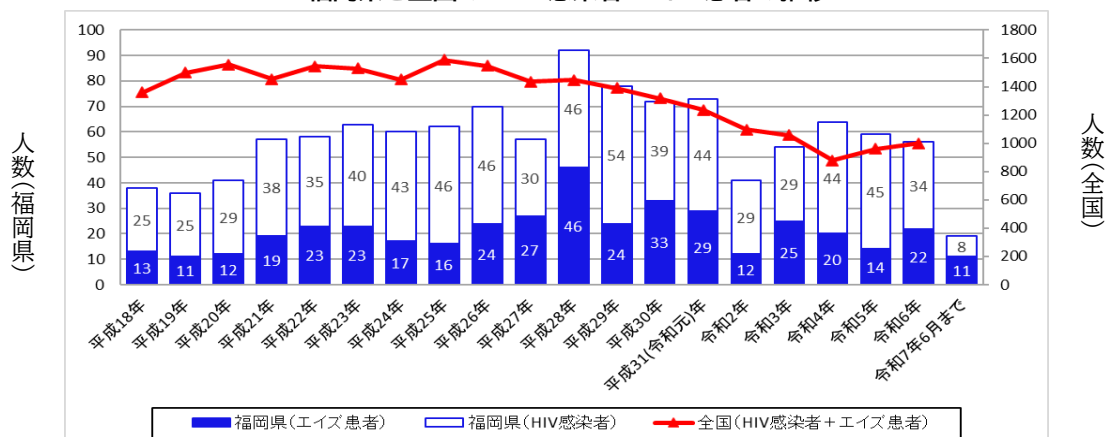
令和7年上半期(1月～6月)福岡県内HIV感染者・ エイズ患者報告数等の情報を公表します (令和7年9月30日現在、速報値)

福岡県では、エイズ予防対策の一環として、県内（北九州市・福岡市・久留米市を含む）のHIV感染者・エイズ患者報告数等の情報を年2回公表しています。

●令和7年上半期（1月～6月）の報告数

- (1) HIV感染者は8名、エイズ患者は11名でした。昨年の同期間と比べ、HIV感染者数は14名の減少、エイズ患者数は1名の増加となりました。
- (2) 年代別でみると、50代以上の報告が最も多く7名でした。
- (3) 性別でみると、男性の報告は18名でした。女性の報告は1名でした。
- (4) 推定感染経路は、同性間性的接触が最も多く9名で、全体の約47%を占めています。

福岡県と全国のHIV感染者・エイズ患者の推移



1 HIV感染症・エイズの治療は飛躍的に進歩しています

HIVは感染力が弱く、性行為以外の日常生活でうつることはほとんどありません。また、感染しても、早期に発見し適切な治療を継続すれば、エイズの発症を防いだり遅らせたりすることができ、感染前と変わらない日常生活を送ることができます。

2 早期発見が大事！HIV抗体検査を受けましょう！

HIVは感染すると発熱などの症状がみられることもありますが、数週間で消失し、その後、無症候期に入ります。無症候期は数年～10年以上続く人もいますが、感染後、短期間のうちにエイズを発症する人もいます。感染に早期に気付くためには、HIV抗体検査を受けることが重要です。

県内の保健所では、**無料・匿名**でエイズ相談とHIV抗体検査を実施しています。詳細は県HP（右記二次元コード）をご確認ください。



県HP



エイズは、STD(性感染症)のひとつで、誰でも感染する可能性がある病気です。
HIVに感染しただけではほとんど症状がないため、気付かず過ごしているかもしれません。
感染の不安がある方は、早めに検査に行きましょう。

